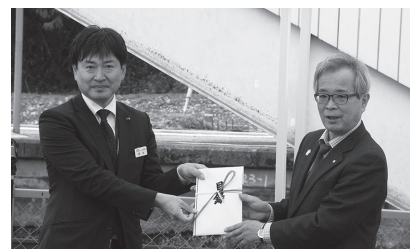


JR伯備線上菅駅開業 100周年 イベント



上菅駅が4月1日に開業100周年を迎えたことを記念し、4月5日、上菅駅前周りで、JR伯備線上菅駅開業100周年イベントが開催されました。

会場では、ミニサンライズ号展示、子ども駅長写真撮影会など、電車や駅にちなんださまざまな催しが行われました。また、地元団体によるじゃぶ汁や焼きそばの無料提供。駅前に設置された特別ステージでは、大道芸人チャーリーさんのパフォーマンスや、日野学園吹奏楽部の演奏、のど自慢大会などが披露されました。



◀▲JR西日本からは駅舎用のベンチが寄贈され、式典内では埴田町長へ目録が手渡されました。

◀上菅駅の誕生を祝う手作りのバースデーケーキ。

▼昔懐かしい写真を展示(菅福公会堂)



▲駅前特別ステージで披露された、日野学園吹奏楽部の演奏と、大道芸人チャーリーさんの大道芸。





新しい生活にワクワクの1年生

日野学園で入学式



新1年生 入学おめでとう!



4月9日、日野学園の入学式が同校の体育館で行われ、新1年生9人が入学しました。

入学式では、保護者や在校生からあたたかい拍手が送られるなか、新1年生たちは緊張した面持ちで会場に入場。担任に一人ずつ名前を呼ばれると、「はい」と元氣よく手を挙げ、在校生の歓迎のあいさつにもしっかりと耳を傾けていました。

子どもたちは、これからの学校生活への期待で、キラキラした笑顔を見せていました。



認定証を手にする環境省中国四国地方環境事務所の坂口所長（左）と埴田町長（右）

4月17日、自然共生サイト「鵜の池・ヨシ池」認定証授与式が、日野町役場で行われました。

自然共生サイトとは、民間の取り組みなどにより、生物多様性の保全が図られている区域を国が認定する制度です。今回、日野町の鵜の池とヨシ池が新たに認定され、県内の同サイトは計6カ所となりました。

鵜の池は、キャンプ場としての利用や自然学習の場となっていること、ヨシ池は、ジュンサイが生息し地元団体が持続可能な管理をしていることが評価の対象となりました。

豊かな自然環境を未来につなげてー。 自然共生サイト「鵜の池・ヨシ池」認定証授与式



作野教授（左）と日野郡3町長らがテープカット

4月3日、「日野郡のまなび推進局」が新設され、山村開発センターで発足式が行われました。

同推進局は、公設塾まなびや縁側を運営する「日野郡ふるさと教育推進協議会」と、日野高校の魅力向上を図る「日野高校魅力向上推進協議会」の事務局が一元化したものです。島根大学教育学部の作野広和教授が統括責任者となり、両協議会のコーディネーターらが推進局のメンバーとして携わります。業務の効率化やふるさと教育の充実、日野高の魅力向上を図っていきます。

より充実した学びの提供・魅力向上を 日野郡のまなび推進局発足式